

令和元年度 岡山市における児童虐待等の相談状況について

＜こども総合相談所及び地域こども相談センターにおける児童虐待通告の推移＞

○虐待相談とハイリスク相談の割合

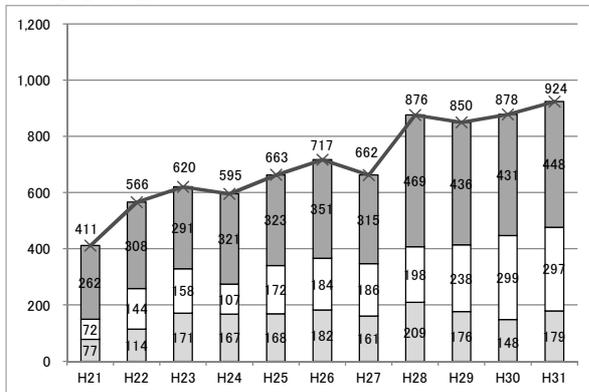
○通告件数は地域こども相談センターでは減少に転じたが、こども総合相談所では増加傾向にあった。
 ○こども総合相談所は虐待相談の占める割合が多く、地域こども相談センターはハイリスク相談(支援レベル1)の占める割合が多い。

		平成21年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	(件数)	
こども総合相談所	通告件数	411	662	876	850	878	924		
	内訳	虐待相談	262	315	469	436	431	448	
		ハイリスク(支援レベル1)	72	186	198	238	299	297	
		その他	77	161	209	176	148	179	
		63.7%	47.6%	53.5%	51.3%	49.1%	48.5%		
		17.5%	29.0%	22.6%	28.0%	34.0%	32.1%		
		18.8%	24.3%	23.9%	20.7%	16.9%	19.4%		
地域こども相談センター	通告件数	613	1002	1,015	1,005	1,096	1,061		
	内訳	虐待相談	435	368	407	404	376	354	
		ハイリスク(支援レベル1)	178	463	478	458	567	545	
		その他	0	171	130	143	153	162	
		71.0%	36.7%	40.1%	40.2%	34.3%	33.3%		
		29.0%	46.2%	47.1%	45.6%	51.7%	51.4%		
		0.0%	17.1%	12.8%	14.2%	14.0%	15.3%		

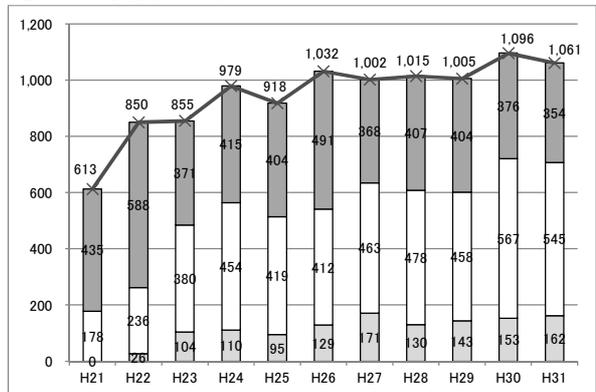
* 虐待相談…通告を受けて最終的に虐待相談と判断したもの * ハイリスク(支援レベル1)…虐待とはいえないが何らかの支援が必要と判断したもの

* 平成22年度～26年度までの件数はグラフ参照

こども総合相談所



地域こども相談センター



—×— 虐待通告 ■ 虐待相談 □ ハイリスク(支援レベル1) ▣ その他